

2024年度会社説明会

日東電工株式会社

代表取締役 取締役社長 CEO COO

高崎 秀雄

取締役 専務執行役員 CTO

三木 陽介

2024年9月13日

Nitto

Innovation for Customers

1 中期経営経営計画 Nitto for Everyone 2025の進捗

2 インダストリアルテープ

3 オプトロニクス

4 ヒューマンライフ

5 新規事業

1

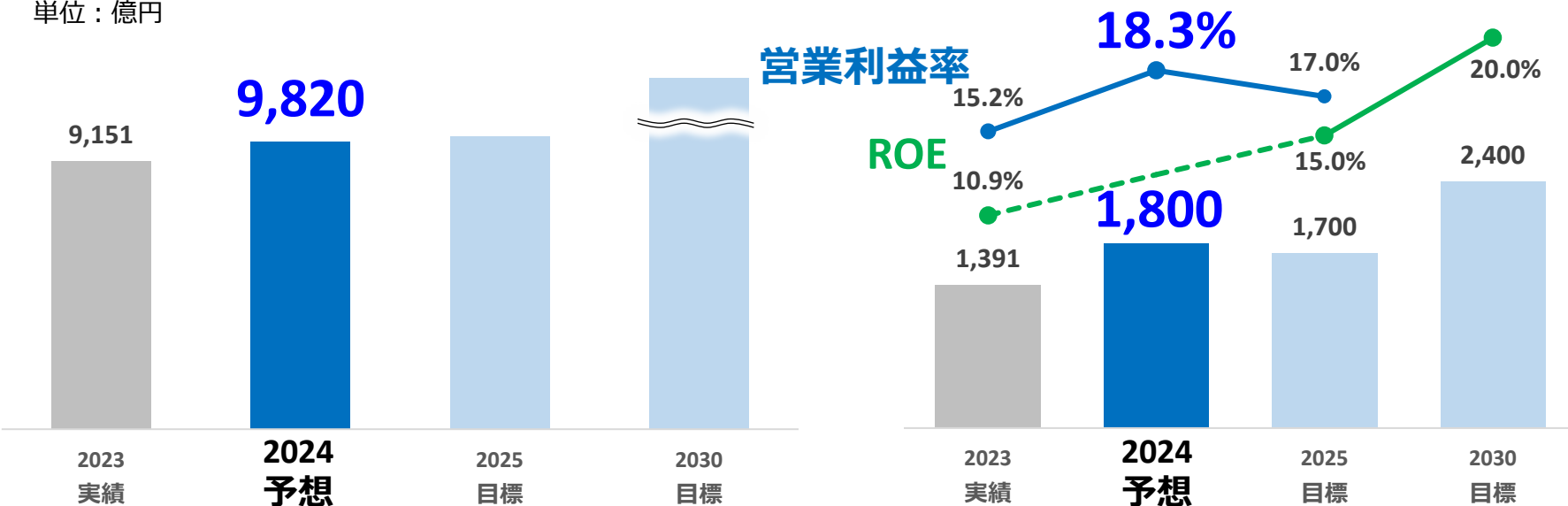
中期経営経営計画 Nitto for Everyone 2025の進捗

2024年度は業績予想を見直し、
売上収益、営業利益ともに過去最高を更新する見通し

売上収益

営業利益・ROE(%)

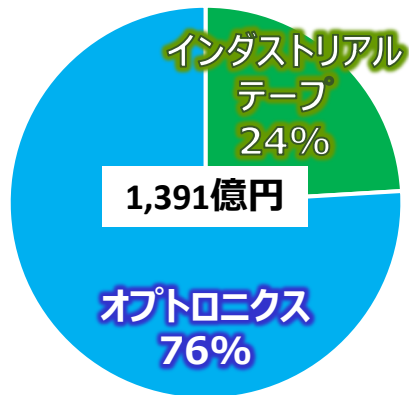
単位：億円



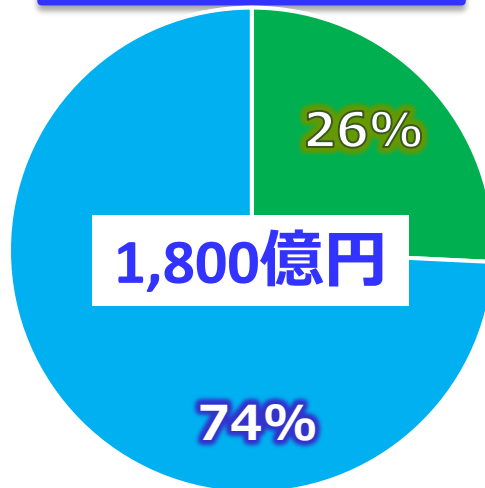
事業ポートフォリオ(営業利益)の状況

インダストリアルテープ、オプトロニクスが拡大
よりバランスの取れた事業ポートフォリオを目指し、ヒューマンライフの収益改善に取り組む

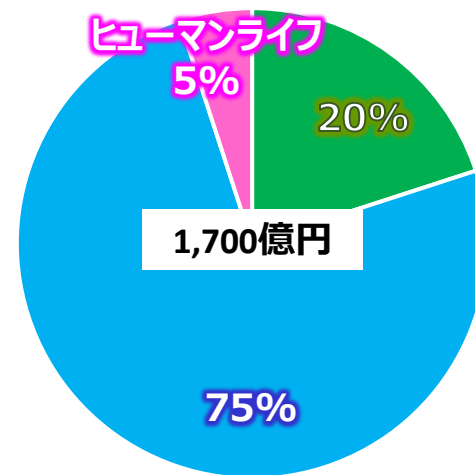
2023年度
実績



2024年度
予想



2025年度
目標



*全社/消去及びマイナスセグメントを含まない構成比
*2025年度における全社/消去及びマイナスセグメントは2022年度の水準が継続する前提

2025年度目標を一部前倒して達成。CO₂排出量は、より高い削減目標へ見直し

継続指標

	2023年度 (実績)	2025年度 (目標)	2030年度 (目標)
新製品比率	41%	35% 以上	35% 以上
CO ₂ 排出量	525 kton/年	470 kton/年	400 kton/年
女性リーダー 比率	20%	24%	30%

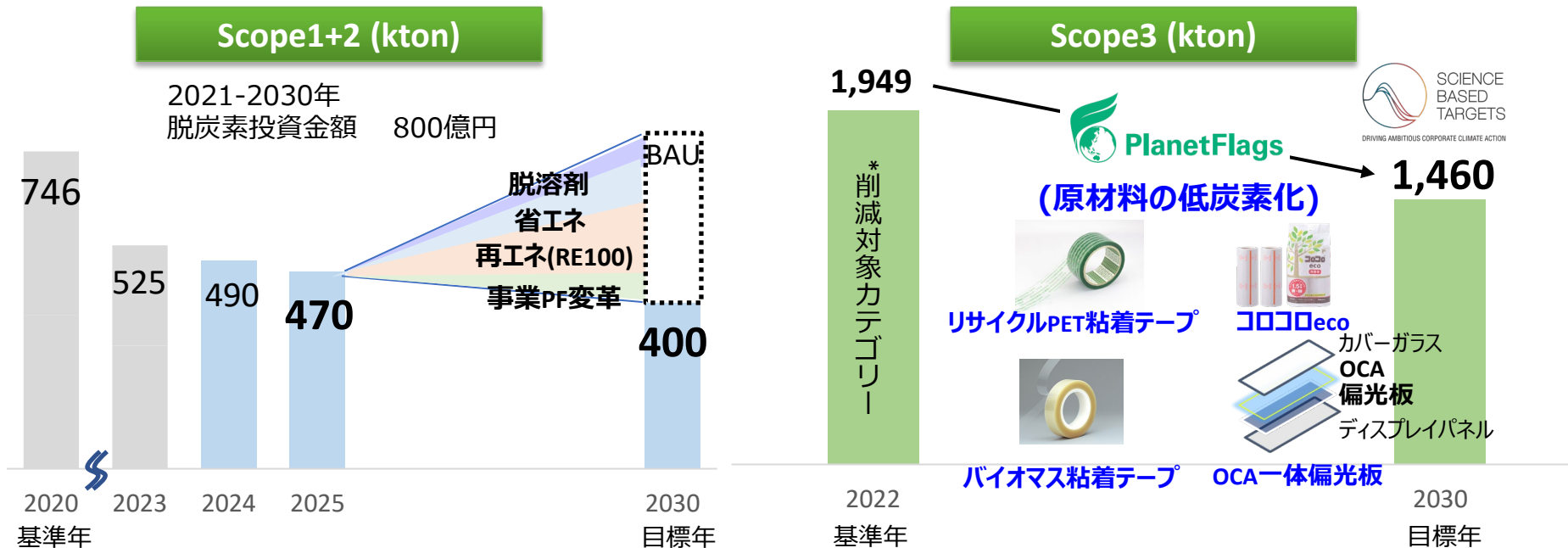
550ktonから、
より高い目標へ見直し
(Scope1+2)

新規指標

	2023年度 (実績)	2025年度 (目標)	2030年度 (目標)	
製品系	ニッチトップ売上収益比率 <small>なくてはならないNitto製品の拡大を計る指標</small>	44%	50%	50% 以上
	PF/HFカテゴリ売上収益比率 <small>環境・人類貢献製品の拡大を計る指標 ※PlanetFlags™/HumanFlags™</small>	36% ※貢献製品 認定品	40%	50% 以上
環境系	廃プラスチックリサイクル率 <small>サーキュラーエコノミーに対する取組みの進捗を計る指標</small>	47%	50%	60%
	サステナブル材料使用率 <small>環境配慮した材料の調達度合いを計る指標</small>	16% ※国内(単体)	20%	30%
人材系	エンゲージメントスコア <small>従業員の「帰属意識」「職場環境」「心身の健康」などを計る指標</small>	81	78	85
	チャレンジ比率 <small>価値創造にチャレンジした従業員の割合を計る指標</small>	37%	70%	85%

SBT加盟によるGHG(CO₂)排出量削減計画

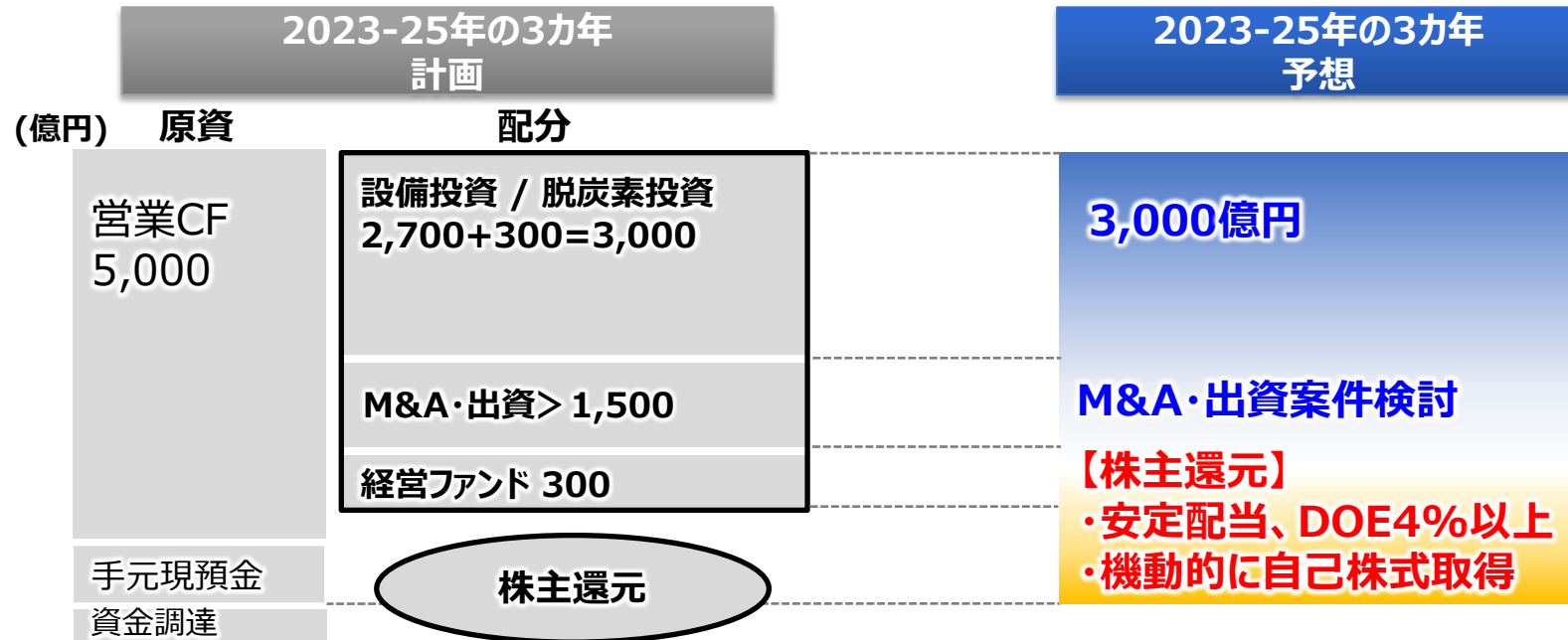
SBT認定を取得しScope1+2はより高い目標へ見直し
Scope3は新たに目標を設定し、サプライチェーン全体でGHG(CO₂)排出量削減を目指す



*削減対象カテゴリー：1 購入した製品・サービス(重量ベース)、3 Scope1、2に含まれない燃料およびエネルギー活動、4 輸送、配送(上流)、5 事業から出る廃棄物、12 販売した製品の廃棄

キャッシュアロケーション

設備投資へのキャッシュ配分は計画通りに進捗
株主還元は安定配当を基本とし、機動的に自己株式取得を実施



2

インダストリアルテープ

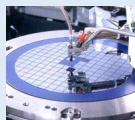
製品にダメージを与えず、きれいに剥がせるテープでRight to Repairに貢献

生産プロセス

生産プロセス最適化
生産性向上



MLCC



半導体



加熱発泡剥離



UV剥離

Right to Repair

修理しやすさ
リペア・交換



スマートフォン(バッテリー交換)



電気剥離



アルコール剥離

リサイクル・
リユース性向上



家電



自動車

簡単かつ迅速に
剥がして修理できる！

先端半導体分野での後工程材料(剥離)の取組み

生成AIが牽引し

拡大する先端半導体分野において後工程材料の新たなニーズに対応

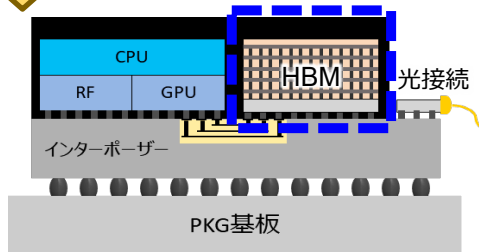
世界半導体出荷額(兆円)



先端半導体における材料ニーズ

後工程への新技術導入

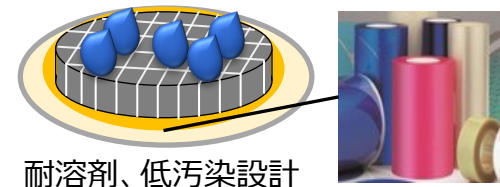
高性能化に伴いパッケージの構造はより高密度化・微細化



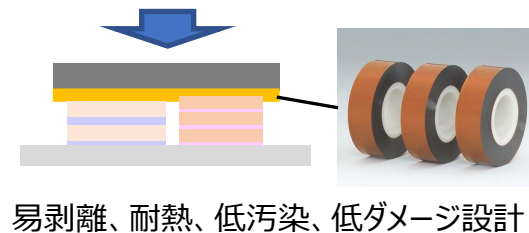
次世代積層技術に対応した
プロセス材を提案

先端半導体に向けた製品例

HBM*用ウエハ加工時のワーク保護 *High Bandwidth Memory



チップボンド時の離形用途



電動車の動力性能と静粛性向上の両立にNitto製品が貢献

サイレントタイヤ



吸音材用
テープ

車載ディスプレイ

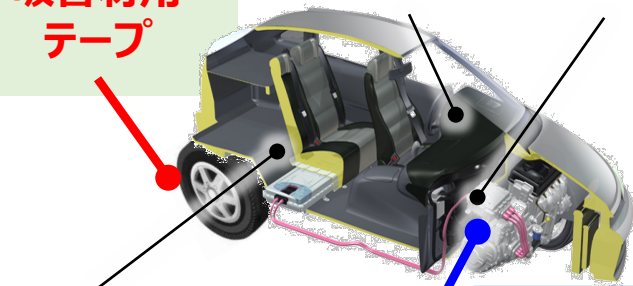


高耐久偏光板・粘着剤
飛散防止フィルム

インバーター



パワー半導体用
プロセス・構造材



燃料電池(FC)



サブガスカート材

モーター



内圧調整材

絶縁紙

モーター用 絶縁紙

国内・北米大手自動車メーカー向け

売上計画

●油冷モーター構造と絶縁紙使用イメージ

CAGR 20%



薄型化

絶縁性

耐久性

絶縁紙の薄型化で
モーターの小型化に貢献



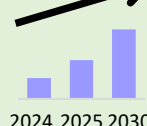
モーター内部構造

絶縁紙

サイレントタイヤ用 吸音材用テープ 欧州・国内大手タイヤメーカー向け

●サイレントタイヤ用テープ使用イメージ

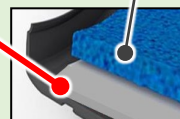
CAGR 18%



Nitto
両面テープ

吸音フォーム

特殊環境下での耐久性に
優れたテープで
車内快適性向上に貢献



3

オプトロニクス

オプトロニクス事業ポートフォリオ変革

ハイエンド市場でシェアNo1を獲得し、高収益な事業ポートフォリオに変革

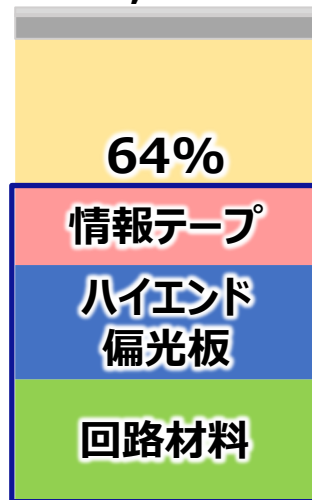
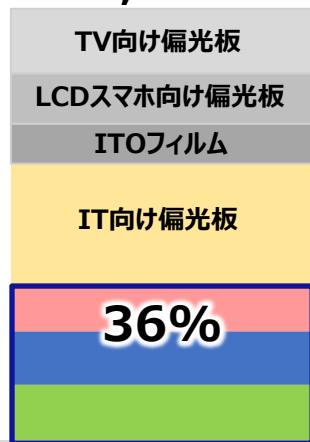
営業利益率



売上収益(億円)

4,289

4,925



- ・TV事業戦略的撤退
- ・LCDスマホ縮小

- ・工程保護フィルム、OCA
OLED化進展による成長
- ・車載、OLEDスマホ、VR等
高付加価値製品増加

- ・DC向けCIS拡大
- ・高精度基板 搭載機種増

売上構成比

36%

64%

情報テープ

ハイエンド
偏光板

回路材料

2020実績

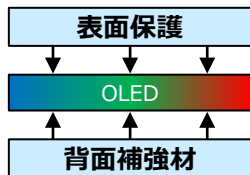
2024予想

顧客密着対応により成長市場へのスペックインで用途拡大 更なる拡大を目指すために今後複数の投資を検討

情報テープとは

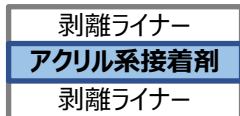
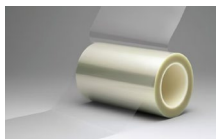
■ 工程保護フィルム

光学部材の保護フィルム



■ OCA(透明粘着シート)

偏光板とタッチセンサ等の隙間を埋めることで
ディスプレイの視認性向上



売上成長の軌跡

OLED機種への搭載
ハイエンドOLEDスマホへ参入
工程保護+OCA



ディスプレイの進化への追随

フォルダブル普及拡大
PWO(偏光板+OCA)

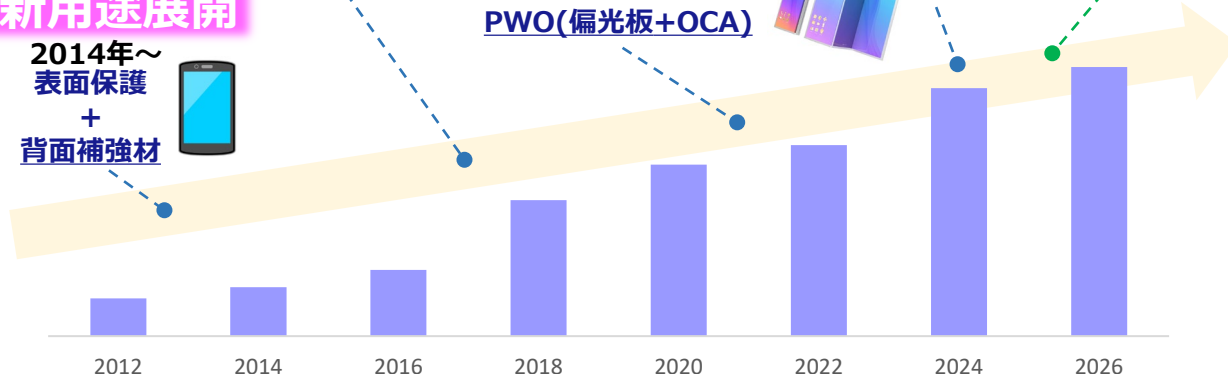


環境対応UV塗工機

脱溶剤によるCO₂削減
平滑性改善歩留り向上

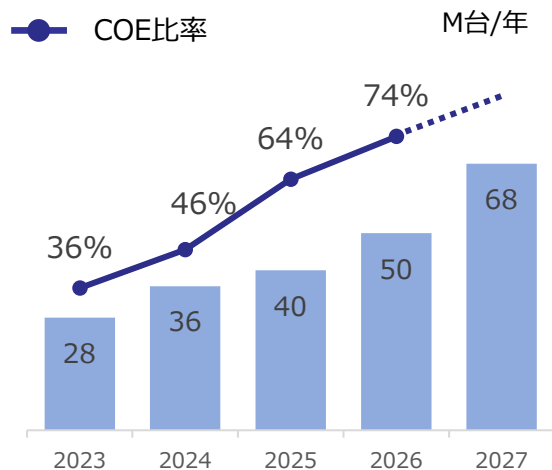


新用途展開
2014年～
表面保護
+
背面補強材



ディスプレイの進化に伴い、偏光板以外の部材の売上拡大
 今後成長が見込まれるフォルダブルOLED市場においても、Nittoが貢献し高シェアを維持

フォルダブル物量とCOE比率見通し



※COE(Color Filter on Encapsulation) = 偏光板レス

パネル変化に追隨した部材転換

LCD

搭載点数：売上指数

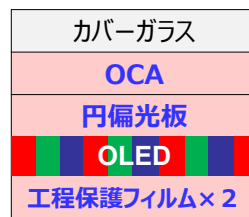
2点：1



フレキシブルOLED

※同じディスプレイ面積で比較

4点：2.5



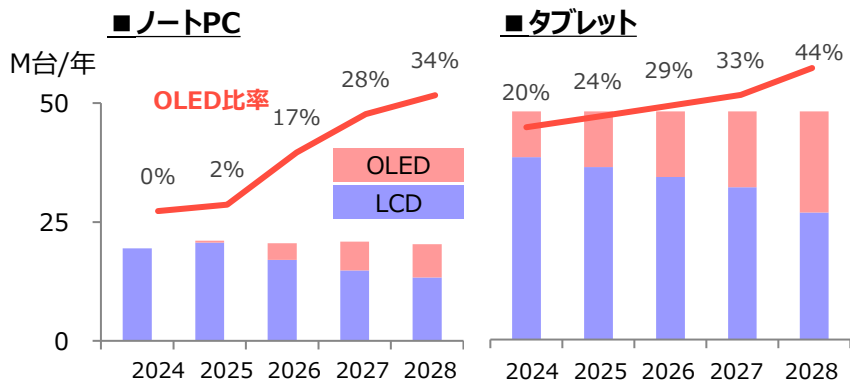
フォルダブルOLED COE

5点：3.5



ノートPC・タブレットはハイエンドモデルがOLED化。搭載点数を増やし収益最大化
車載はプレミアムモデルの超大型ディスプレイがOLED化。大型異形対応で勝ち切る

アプリ別物量とOLED化の見通し



LCD→OLED化による単価変化 (例：OLEDタブレット)

LCD

1

OLED

1.6

売上指数

車載向けディスプレイのOLED化

■ディスプレイ超広幅対応

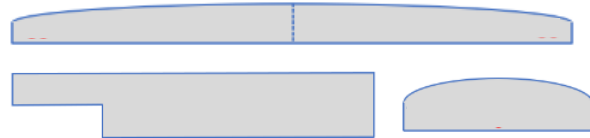
プレミアムモデルで1000mm幅を超える超広幅ディスプレイの需要(One-Large)が増えることを想定

■OLED必要となる背景

- ・デザイン設計の容易さ
- ・湾曲性



大型異形対応への投資

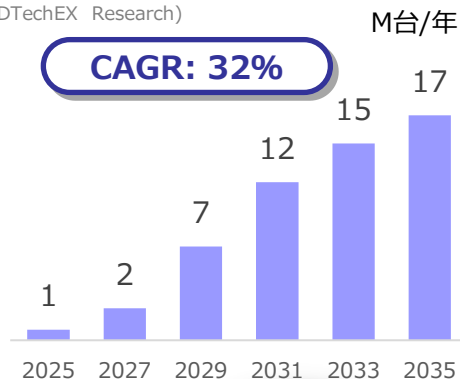


特殊異形、スーパーロング形状に対応可能

ARグラスの課題である厚み/重さに対し、 NittoとTLO2社の強みを活かしたホログラム積層/量産化で課題解決に貢献

■ ARグラス市場台数予測

出所：(IDTechEX Research)



現状課題

厚み 重さ

消費電力、デザイン性などで
普及にはまだ至らず

Nitto

積層技術

貼合技術

量産技術

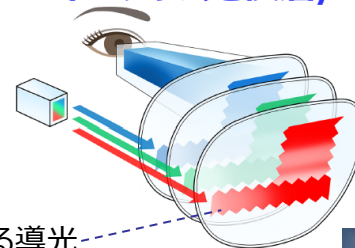
+



TruLifeOptics

ホログラム導光技術

ホログラムを積層/量産化



ホログラムによる導光

薄さ 軽さ

薄型/軽量化と導光精度を
両立可能

HumanFlags



世界のデータ容量予測

(エクサバイト)



(Nitro予測)

HDDの高容量化

新技術HAMR※の実用化へ
Nittoの**技術で貢献**

※HAMR：熱アシスト記録(Heat-Assisted Magnetic Recording)

配線の高密度化に対応

感光性ポリイミド
微細配線技術
金属基材

金属基材に
電気接続機能を付加



CISFLEX™

回路材料事業の成長戦略

回路技術 + α の価値で新しい需要を創出

新市場

スマートフォン市場



高精度基板

→スマホ内
他用途展開

HDD市場

CISFLEX™

感光性ポリイミド
微細配線技術
金属基材



フレキシブル回路基板(FPC)

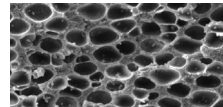
エッチング技術

新需要創出



高速通信・半導体市場へ

多孔形成技術



熱伝導技術

新技術

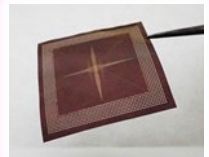
低誘電基板



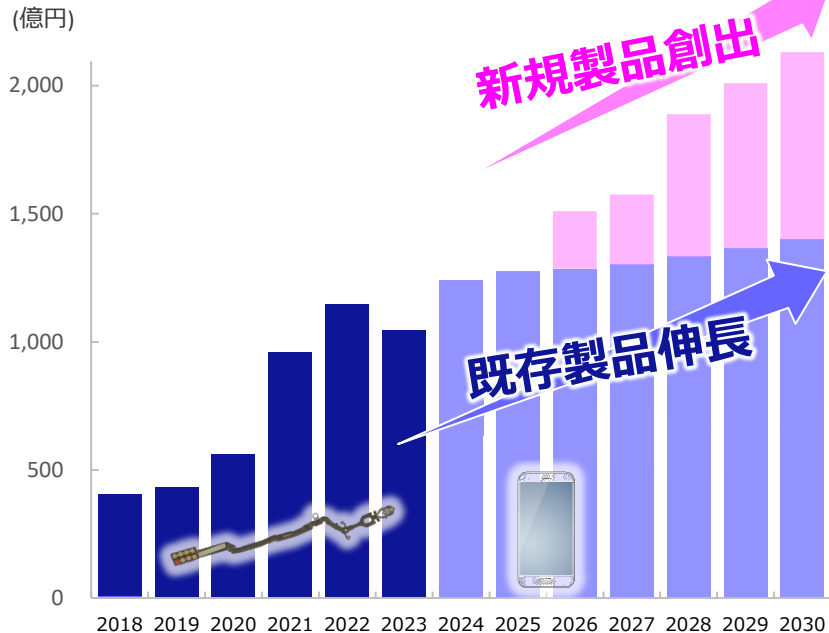
微細配線技術
多孔形成技術

半導体パッケージ基板

微細配線技術
熱伝導技術



売上収益計画



天災および地政学リスクを再考
高精度基板の新たな展開もふまえ
新設工場への投資内容を変更

24年度竣工の
新工場

高精度基板2拠点生産体制
の構築(亀山・ベトナム)



2024年4月竣工



2024年9月竣工



2024年12月竣工予定

※CIS = CISFLEX™の略称

4

ヒューマンライフ

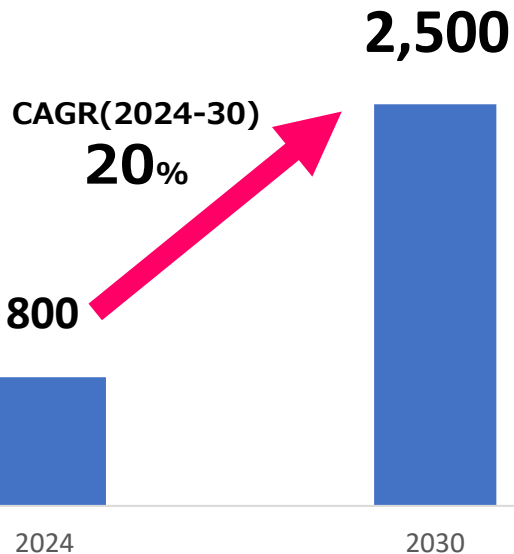
核酸受託製造市場の成長性

臨床件数の増加や大型疾患向け商用薬の拡大により、年率20%で成長する見通し

核酸受託製造市場規模

Evaluate社レポートより当社推定

単位：億円



核酸医薬品のパイプライン

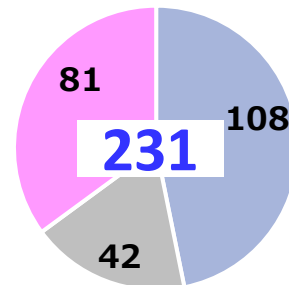
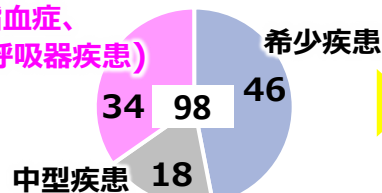
件数：当社推定

2024年度

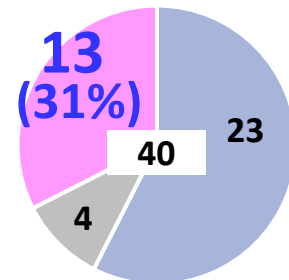
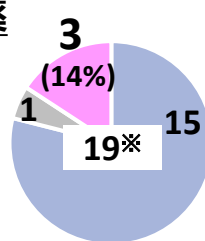
2030年度予想

臨床薬(第2・3相)

大型疾患
(がん高脂血症、
心臓病、呼吸器疾患)



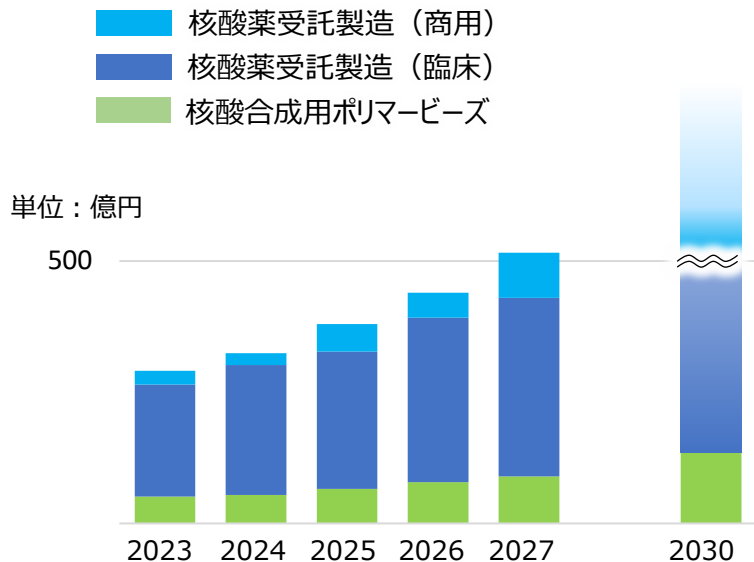
商用薬



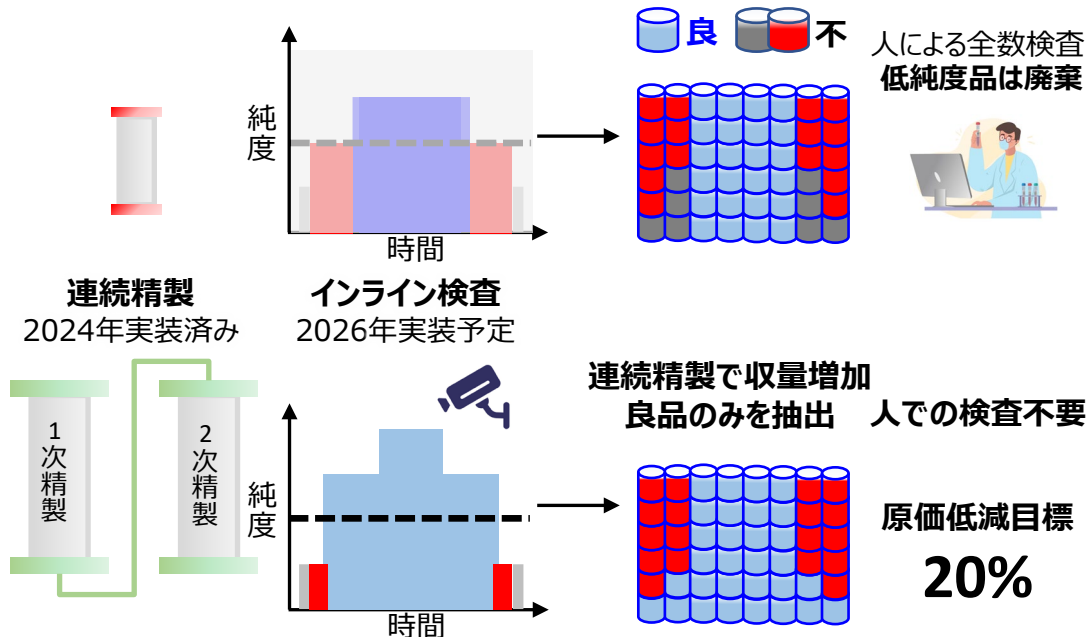
※承認薬のうち現在アクティブなものを抜粋した件数

商用薬を中心に今後の需要を取り込み、2030年に向けて事業を拡大 収益向上施策の一環として、新たな製造技術を米国工場で実装

中長期売上収益計画



新たな製造技術の実装（精製工程）



市場の成長に備えて工程材料と核酸原薬受託製造の生産能力を増強

工程材料

核酸原薬受託製造

宮城工場
ビーズ製造

サンディエゴ工場
ビーズ加工

シンシナティ工場
(研究~初期臨床)

ミルフォード工場
(後期臨床~商用薬)

Kinovate Life Sciences, Inc.

サンディエゴ

Nitto Denko Avecia Inc.

シンシナティ

ボストン

新工場
稼働時期

2024年度

2025年度

生産能力増強
2024年度

2023年度

製薬会社、核酸CDMO、研究機関

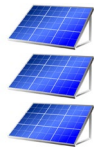
宮城工場 Nittoグループ初の水素変換・ボイラー装置を導入

太陽光発電による余剰電力を水素へ変換する装置と水素ボイラーを導入
下期に稼働開始し、CO₂排出ゼロの取組みを推進

【電力】

グリーン電力供給量を増加

太陽光発電パネルを倍増
自然由来電力の調達



従来：休日などは発電を中止
今後：発電して水素へ転換



水素変換装置
(電気→水素)



水素ボイラー
(水素→蒸気)



宮城工場
CO₂ゼロエミッション工場

【蒸気】

ボイラー燃料をLPGから水素とし、
CO₂排出ゼロの「熱(蒸気)」を供給



マイノリティ出資したバイオ材料開発スタートアップで、 社会実装を目指してバイオ溶剤の開発を推進



環境の変化に寄り添った製品ラインナップで持続的な成長へ

成長戦略



環境対応製品の創出

- 環境規制強化に伴う
対応製品の提案

保有技術

- ・生分解性不織布
- ・薄層化技術

重点取組

ESG貢献製品の積極展開



成長分野へ新製品創出

- 大人、フェミケア向け
製品ラインナップの拡充

- ・異方伸縮フィルム技術
- ・液体吸収不織布

快適性向上製品の市場投入



ポートフォリオ変革

- Nittoグループ内協業による
工業材料用途への参入

- ・多層積層フィルム
- ・高強度/高伸縮

シナジー開発テーマの促進



5

新規事業

CO₂分離膜事業の変遷

2020年2月プロジェクト開始から、 滋賀での300t実証を経て、2025年にCO₂分離膜の量産を開始予定

ネガティブエミッションファクトリー(NEF)構想



CO₂分離膜

CO₂変換

大気CO₂捕捉

NEF-PJ

2020年2月

社外発表
会社説明会

2023年5月



日本経済新聞
2023年7月22日付記事



亀山 第12工場(3F)

2016年
研究開始

2023年4月~

滋賀事業所
300t実証



CO₂回収率90%以上達成を確認

2024年2月

設備投資



2025年12月量産開始

初出荷 2026年予定

2030年に売上100億円を目指す

独自のCO₂変換技術で バイオマス由来CO₂からギ酸を製造する取組みを開始

CO₂削減に向けたソリューション

CO₂変換技術テーマ例：バイオマス由来CO₂→ギ酸製造

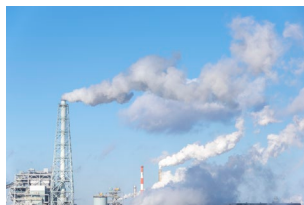
NittoはCO₂削減のトータルソリューション提供を目指す

CO₂排出源

分離回収

固定変換

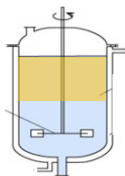
Nitto



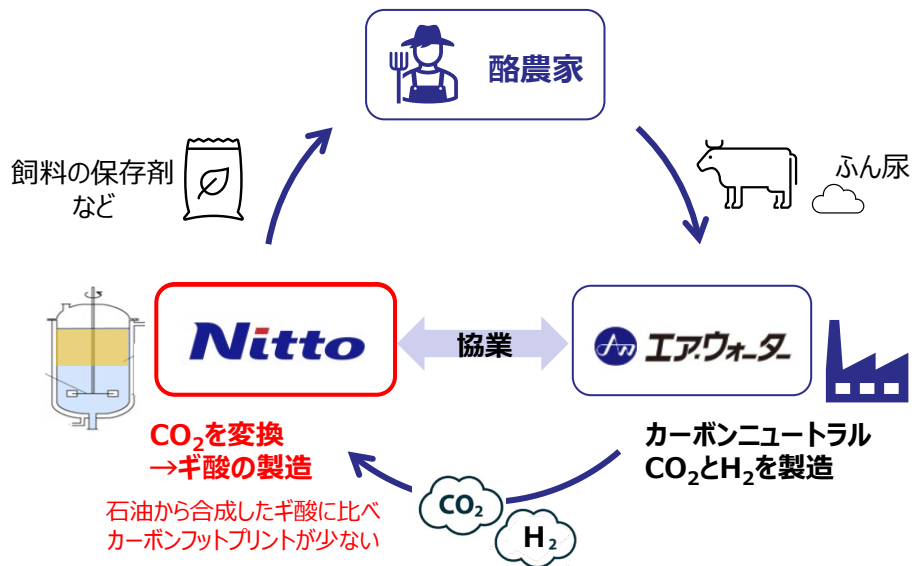
発電所・工場
大気中CO₂
酪農家



CO₂分離膜



独自のCO₂変換技術
CO₂からギ酸を合成製造



工場廃溶剤回収による環境貢献

分離膜を活用したリサイクルでコスト削減とCO₂削減



Nitto

Innovation for Customers